（課題名）開腹手術と比較した腹腔鏡下穿孔性大腸癌手術の

治療成績、長期成績

本調査研究の概要を以下に示します。【対象】に該当すると思われる方で、本調査研究に関するお問い合わせや調査の対象となることを希望されない場合は、担当医にお申し出ください。

【本調査研究の目的】
2014 年 1 月～2023 年 4 月に手術した全穿孔性大腸癌症例の集積を行い、開腹群と腹腔鏡群の治療成績を後方視的に解析します。

【対象】
当院（外科、救急科）で 2014 年 1 月～2023 年 4 月に穿孔性大腸癌と診断し、外科的治療を行った症例

【情報の利用目的及び利用方法】
学会発表、論文等に使用する場合がございます。

【調査項目】
上記期間のおける当院（外科、救急科）における穿孔性大腸癌 57 例の患者背景、手術アプローチ（開腹または腹腔鏡（開腹移行率）、周術期成績（手術成績、合併症、死亡率、術後退院日数）、長期成績（再発率、死亡率）を調査します。

なお、必要な情報のみを統計資料として集計しますので、患者さんのお名前など個人を特定できる情報が明らかになることはありませんので、ご安心ください。

【調査対象期間】
2014 年 1 月 1 日　～　2023 年 4 月 30 日

【利用する者の範囲】
関西労災病院　消化器外科　平木将之、中瀬達也

【試料・情報の管理について責任を有する者】
関西労災病院　消化器外科　副部長　平木将之

【研究期間】
実施許可日から　2023 年　7　月　31　日（調査状況により調査期間を延長する可能性があります）

【当院の研究責任者】
平木　将之
関西労災病院　消化器外科
〒660-8511　兵庫県尼崎市稲葉荘 3-1-69
TEL: 06-6416-1221（代表）
FAX: 06-6419-1870（代表）
E-mail： hiraki-masayuki@kansaih.johas.go.jp